

公益社団法人愛知県医師会 第4回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年5月8日(木) 午後2時30分～午後3時55分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川 朝 洋 吉田 貴 伊藤 健 一

城 義 政 加藤 雅 通 大輪 芳 裕 西山 朗 樫尾 富 二

松尾 清 一 樋口 俊 寛 伊藤富士子 瀬瀬 雅 明 細川 秀 一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬 紀

議事録作成者 横地 宏 和

※松尾理事、大輪理事遅刻の為、承認事項1～協議事項9については、20名(うち理事17名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①愛知県(健康福祉部)主催の平成26年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

②平成26年度愛知県農業危害防止運動に対する協賛について
市川理事より説明があり、承認された。

③独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター主催の市民公開講座〔7/19(土)〕
の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

④公益社団法人愛知労働基準協会主催の平成26年度愛知産業安全衛生大会の後援及び来賓としての臨席について

市川理事より説明があり、後援について承認され、来賓として西山理事が臨席（会長代理）することとなった。

⑤一般財団法人横山臨床薬理研究助成基金(理事長 土井清孝)主催の平成26年度第24回講演会の後援並びに会長挨拶について

市川理事より説明があり、後援について承認され、会長挨拶については山本副会長が代読することとなった。

(2) 公益社団法人愛知県臨床検査技師会(会長 松本祐之)、一般社団法人日本臨床衛生検査技師会(会長 宮島喜文)主催の平成26年度「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」〔8/30(土)、8/31(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(3) 平成26年版会員名簿について

市川理事より、CDでの配付を主とし、冊子は付録的なものとして、平成26年7月現在にて作成し、A会員の希望者のみに冊子を配付する。また、ページ数を大幅に削減するため、削減内容案について説明され、作成については承認された。

柵木会長より、各種委員会名簿、関係団体名簿等は削除し、役員名簿、会員名簿が主となるよう作成予定であるが、掲載を希望する内容等があれば市川理事へ要望するよう役員へ依頼された。

加藤理事より、冊子のページ数を削減するために内容を精査するのであれば、CDへは今まで通り全て掲載してはどうかと発言され、市川理事より、基本的にはCDをそのまま打ち出したイメージの冊子を考えているので同じ内容とすると発言された。

山本副会長より、削減内容資料を役員へ配付するよう依頼され、柵木会長より、意見があれば5月中に庶務課へ提出するよう役員へ依頼された。

(4) 慶祝について

市川理事より説明があり、叙勲・褒章を受けられた3名の先生の慶祝を、6月21日(土)に開催する第172回(定例)代議員会で行うことが承認された。

(5) 県表彰条例による表彰受賞候補者の推薦について

市川理事より説明があり、標記候補者として稲坂理事を推薦する事が承認された。

2. 平成26年度第1回 愛知県小児救急医療連携体制推進協議会(仮称)〔5/28(水)〕開催について

(愛知県医師会主催：7階研修室)

稲坂理事より説明があり、愛知県からの委託事業(医療連携体制推進事業)として、

標記協議会を開催することが承認された。

3. 日本網膜色素変性症協会愛知支部第17回定期総会〔7/6(日)〕派遣依頼について
(日本網膜色素変性症協会 愛知支部主催：栄ガスビル5階ホール)
城理事より説明があり、医療安全・難病相談室より事務局1名の出席が承認された。
4. 平成26年度愛知県医師会医療秘書学院講師派遣について
城理事より説明があり、5名の講師を派遣することが承認された。
5. イエローカードシステムに係る成果報告会〔5/28(水)〕開催について
(愛知県医師会主催：6階研修室)
樋口理事より説明があり、標記報告会の開催が承認された。
6. 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院地域連絡協議会の委員就任について
細川理事より説明があり、ご自身の標記協議会への委員就任が承認された。
7. 各種委員会・部会について
 - A) 「現代医学」誌編集委員会幹事会〔5/22(木)〕開催について
(804会議室)
加藤理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。

—協議事項—

8. 入会金の徴収猶予申請について
可世木理事より説明があり、名古屋市医師会、知多郡医師会、北設楽郡医師会から申請のあった入会金徴収猶予申請が承認された。
9. 会員外関係者の委嘱について
市川理事より説明があり、弁護士9名、会計士・税理士1名、社会保険労務士1名の委嘱が承認された。
柵木会長より、社会保険労務士の業務内容について質問され、事務局より説明がなされた。

10. その他

—報告事項—

1. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔4/25(金)〕について
(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)
柵木会長より、新規機関、開設者変更機関について資料に基づき報告された。
2. 中部医師会連合第14回常任委員会〔5/7(水)〕について
(中部医師会連合主催：マリオットアソシアホテル)
柵木会長より、協議事項では、日本医師会常任理事・議長の推薦について、日本医師会理事(女性医師)の選出について、第132回日本医師会定例代議員会並びに第133回臨時代議員会への対応について協議され、報告事項では、各地区代表者懇談会についての報告があったと報告された。
山本副会長より日本医師会理事(女性医師)の選出について、愛知県から選出するとされているが、その選出方法について質問され、柵木会長より、検討中であると回答された。
3. 愛知県訪問看護ステーション連絡協議会臨時総会〔4/26(土)〕について
(愛知県訪問看護ステーション連絡協議会主催：中区役所ホール)
市川理事より、出席者は41名。また、「連絡協議会の解散について」協議議題が提出され、承認された。なお、予備費は新設された「愛知県訪問看護ステーション協議会」へ全額寄付することになったと報告された。
4. 平成26年度愛知県看護功労者表彰について
市川理事より、推薦者10名中7名が表彰されることになったと報告された。
5. 都道府県医師会 新たな財政支援制度担当理事連絡協議会〔4/25(金)〕について
(日本医師会主催：日本医師会館)
伊藤(健)理事より、総合確保方針、財政支援制度のスケジュール、交付の条件、留意事項、負担割合のイメージについて資料に基づき説明された。
柵木会長より、負担割合のイメージの資料について、地域医療再生基金は、国からだけでなく県からも捻出しているのか質問され、松尾理事より、初期の頃は県負担もあったが、4、5次ではほとんど無かったと発言され、柵木会長より、本件について、確認するよう伊藤(健)理事へ依頼された。
伊藤(健)理事より、財政支援制度について、継続性は担保されているが、単発での事業は難しいと発言された。
柵木会長より、事業申請は県医師会が取り纏めるのか質問され、伊藤(健)理事より、県へ直接申請があったものについても県医師会を通すよう依頼してであると回答された。
柵木会長より、地域医療支援センターについてはまだ決まっていないと発言された。

6. 一般社団法人愛知県労災指定医協会 平成 26 年度 第 2 回理事会〔4/17(木)〕について
(一般社団法人愛知県労災指定医協会主催：801～803 会議室)
城理事より、平成 26 年 5 月 1 日付けの新規指定医療機関は 9 件（1 件は歯科）であった。また、損保苦情申し立て事案 14 件の報告があったと報告された。
7. 治験審査会〔4/25(金)〕について
(愛知県医師会主催：801 会議室)
城理事より、継続審査 16 件（統合失調症 5 件（小児 1 件含む）、潰瘍性大腸炎 3 件、大うつ病・認知症各 2 件、クローン病・乳がん・双極 I 型障害・1 型糖尿病各 1 件）について、すべて承認されたと報告された。
8. 平成 26 年度愛知県被害者支援連絡協議会定例総会〔4/21(月)〕について
(愛知県被害者支援連絡協議会主催：三の丸庁舎)
細川理事より、昨年度活動報告及び今年度活動計画(案)について話し合いが行われ、また、会員による活動報告があったと報告された。
9. 各種委員会・部会について
 - A) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔4/22(火)〕について
(801・802 会議室)
城理事より、委員会委員変更について、2013 年度の実績報告について、事例検討会（第 1 回）について、小委員会（第 1 回）開催について検討され、事例報告・検討では、平成 26 年 3 月分の新規事例 61 事例、継続相談 15 事例/22 回の総計 85 回（医師の説明不足、白内障の手術費用、医師の診療態度について報告。看護師のレントゲン撮影、元職員による内部告発、受診時のポイント制度、ワクチンの接種間隔、中絶の同意書）について協議を行った。
 - B) 母体保護法指定医師審査(小)委員会〔4/23(水)〕について
(801 会議室)
伊藤（富）理事より、公益社団法人愛知県医師会母体保護法指定医師指定基準及び細則等について、主に「①研修機関の事前登録申請の必要性」、「②指定医師の更新研修」に関する協議を行い、それに伴う研修症例実施報告書及び研修連携施設申告書等の様式について検討を行った。また、母体保護法指定医師講習会の県外受講及び非医師会員の受講料について議論が交わされたと報告された。
山本副会長より、公益社団法人と一般社団法人の違いにより受講料徴収に対する考え方も違いがあるのではないかと質問され、伊藤（富）理事より、小委員会では問題は無いという結論であったと回答された。
 - C) 調査室委員会〔5/7(水)〕について
(5 階医師連盟会議室)

加藤理事より、会員意識及び実態調査のクロス集計結果について意見交換を行い、また、「二木学長の医療時評(122)」について議論したと報告された。
柵木会長より、会員意識及び実態調査の集計に時間がかかっているのではないかと質問され、加藤理事より、6月初旬を目途に集計結果を出したいと回答された。

10. その他

- ・ 東海北陸厚生局との打ち合わせについて

榎尾理事より、東海北陸厚生局との打合せ状況について報告された。

- ・ 訪問診療に係る記録書「別紙様式14」について

榎尾理事より、「別紙様式14」は「在宅患者訪問診療料2」の「同一建物居住者の場合」を算定した場合に記載し、明細書に添付することが必要となっていたが、疑義解釈(その6)では、「『別紙様式14』については、本来は平成26年4月診療分から添付するものであるが、電子請求を行うための準備期間等を考慮し、平成26年9月診療分までは添付を省略してもやむを得ないものである。」とされ、9月診療分までは添付を省略できる扱いとなり、本件について、地区医師会へ周知を行ったと報告された。

樋口理事より、すでに別紙様式14を送付した会員、また、用意をしている会員もいるので混乱が生じないように收拾していきたいと発言された。

- ・ 職員の退職について

市川理事より、5月15日付にて医療安全・難病相談室長が退職すると報告された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年5月8日